

2012年3月期（2011年度通期）

決算説明会

株式会社トクヤマ

2012年5月14日



CONTENTS

—説明内容—

1 2012年3月期決算

2 2013年3月期業績予想

3 マレーシア計画と多結晶シリコン市場動向

4 トピックス

5 補足資料



1 2012年3月期決算

1. 決算概要

2. 決算要因分析



① 2012年3月期決算

1. 決算概要①

連 結 (前期比)

(億円)

	2012年 3月期	2011年 3月期	差 異	
			金額	%
売上高	2,823	2,897	△74	△3
営業利益	137	201	△64	△32
経常利益	115	173	△58	△34
当期純利益	93	97	△4	△4

① 2012年3月期決算

1. 決算概要②

連 結(前期末比)

(億円)

	2012年 3月末	2011年 3月末	増 減
総資産	5,011	4,747	+264
自己資本	2,492	2,411	+80
自己資本比率	49.7%	50.8%	△1.1%
有利子負債	1,486	1,262	+224
D/Eレシオ	0.60	0.52	+0.07

① 2012年3月期決算

2. 決算要因分析

① 当期決算のポイント

② セグメント別 売上高／営業利益
前期比

① 2012年3月期決算／2. 決算要因分析

① 当期決算のポイント (前期比)

販売数量

多結晶シリコンは、東日本大震災の影響や半導体・太陽電池市場低迷などにより、販売数量が減少

セメントは、国内の民間需要が堅調に推移し、販売数量が増加

化成品は、東日本大震災の影響で同業他社が一時停止したことに伴い苛性ソーダや塩化ビニル樹脂等の販売数量が増加

販売価格

多結晶シリコンは、主に円高の影響により下落

セメントは、価格是正に取り組み一部実現

化成品は、ナフサ上昇に伴い塩化ビニル樹脂や酸化プロピレン等の石油化学製品の価格を是正

原燃料価格

石炭価格、ナフサ価格ともに上昇

① 2012年3月期決算／2. 決算要因分析

② セグメント別売上高／営業利益 (前期比)

(億円)

	2012年3月期		2011年3月期		差異			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	852	19	791	24	+61	+8	△5	△21
特殊品	790	102	967	163	△177	△18	△61	△38
セメント	684	29	644	20	+39	+6	+8	+41
機能部材	435	17	432	20	+2	+1	△2	△14
その他	403	20	412	23	△9	△2	△3	△14
計	3,166	188	3,249	252	△82	△3	△64	△25
セグメント間 消去・全社費用	△343	△51	△351	△51	+8	—	+0	—
連結決算	2,823	137	2,897	201	△74	△3	△64	△32

(注)各事業セグメントの売上高にはセグメント間売上高を含む

2 2013年3月期業績予想

1. 今後の事業環境

2. 業績予想



② 2013年3月期業績予想

1. 今後の事業環境

化成品

苛性ソーダ及び石油化学製品等の価格是正に取り組み、利益拡大に努める

特殊品

多結晶シリコンについて、半導体向けは今年度後半には需要回復が見込まれるものの、価格は弱含み。太陽電池向けは供給過剰を背景に価格は低迷
コスト削減努力の継続により、利益確保に努める

セメント

震災後の復興需要は見込まれるが、当社販売地域での需要動向は不透明
販売・物流体制の見直しをはじめとするコスト削減の徹底により、利益確保に努める

機能部材

市場開拓とコスト削減により、利益拡大に努める
エクセルシャノングループは、改修完遂により信頼回復を図り、収益改善に努める

(注)ファインケミカル事業及びNF事業は、特殊品から機能部材に移管 9

② 2013年3月期業績予想

2. 業績予想

- ① 業績予想の前提
- ② 業績予想（連結）
- ③ セグメント別業績予想



② 2013年3月期業績予想／2. 業績予想

① 業績予想の前提

	2013年3月期 予想	2012年3月期 実績	2011年度下期 実績	2011年度上期 実績
国産ナフサ価格 (円/kl)	55,000	54,930	52,900	56,950
為替 (円/\$)	80	79	78	80

② 2013年3月期業績予想／2. 業績予想

②業績予想

連 結 (前 期 比)

(億円)

	2013年 3月期 予想	2012年 3月期 実績	差 異	
			金額	%
売上高	2,860	2,823	+36	+1
営業利益	120	137	△17	△13
経常利益	85	115	△30	△26
当期純利益	50	93	△43	△47

② 2013年3月期業績予想／2.業績予想

③セグメント別業績予想

(前期比)

(億円)

	2013年3月期予想		2012年3月期実績		差異			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	900	50	852	19	+47	+6	+30	+163
特殊品	675	45	724	94	△49	△7	△49	△53
セメント	670	25	684	29	△14	△2	△4	△15
機能部材	550	30	501	24	+48	+10	+5	+21
その他	395	20	403	20	△8	△2	△0	△2
計	3,190	170	3,166	188	+23	+1	△18	△10
セグメント間 消去・全社費用	△330	△50	△342	△51	+12	—	+1	—
連結決算	2,860	120	2,823	137	+36	+1	△17	△13

(注1)各事業セグメントの売上高にはセグメント間売上高を含む

(注2)2012年3月期実績は、ファインケミカル事業及びNF事業を特殊品から機能部材に移管した値に換算している

3 マレーシア計画と多結晶シリコン市場動向

1. トクヤママレーシア進捗
2. 多結晶シリコン需給予測
3. 多結晶シリコン価格動向(短期)
4. 多結晶シリコン価格動向(長期)
5. トクヤママレーシアの競争力
6. 想定資金計画



③ マレーシア計画と多結晶シリコン市場動向

1. トクヤママレーシア進捗

- 2012年2月に第2期プラント着工
- 第1期は2013年6月、第2期は2014年4月からの営業運転開始に向け工事は予定通り進捗



建設が進む第1期プラント



2月に着工した第2期プラント

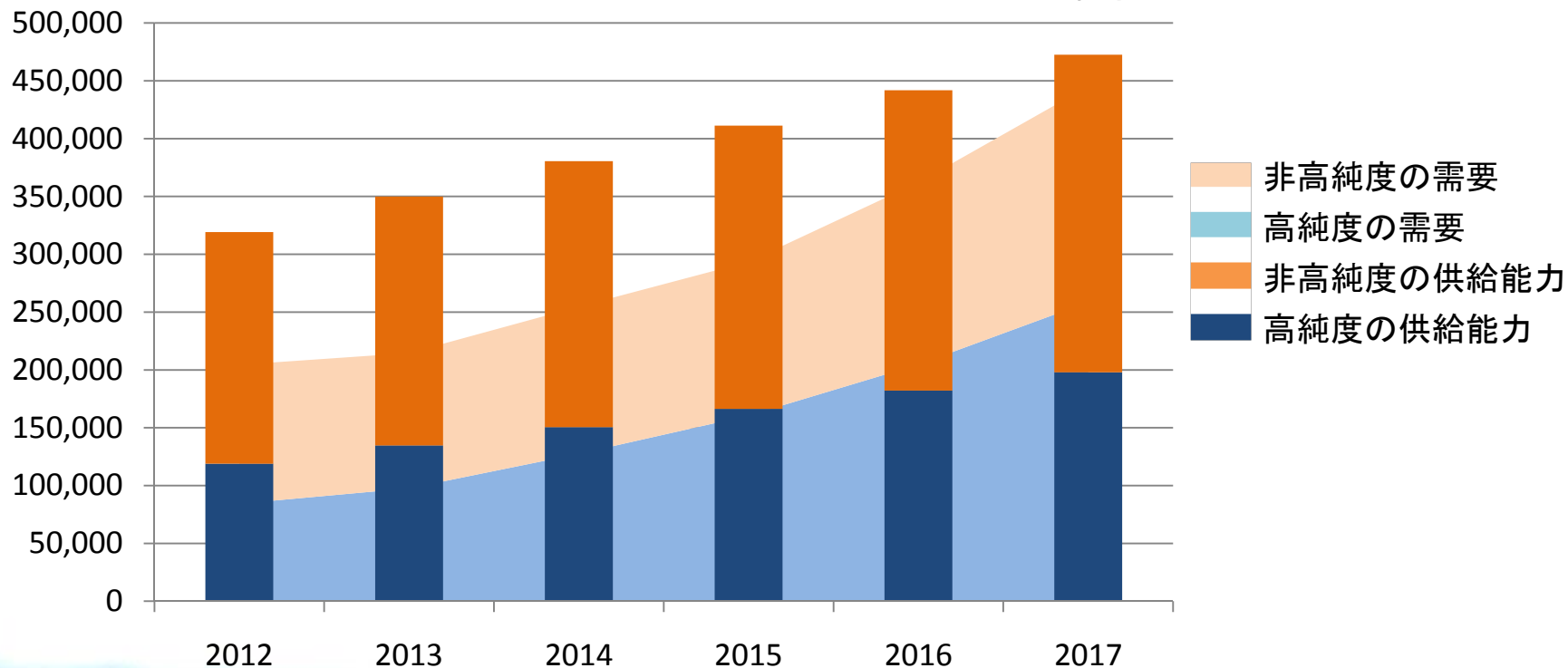
③ マレーシア計画と多結晶シリコン市場動向

2. 多結晶シリコン需給予測

- 太陽電池の普及が加速することによる需要拡大
- 競争力のないメーカーの生産停止、撤退、増産計画見直しによる需給ギャップの縮小

供給能力／需要(トン)

当社予測

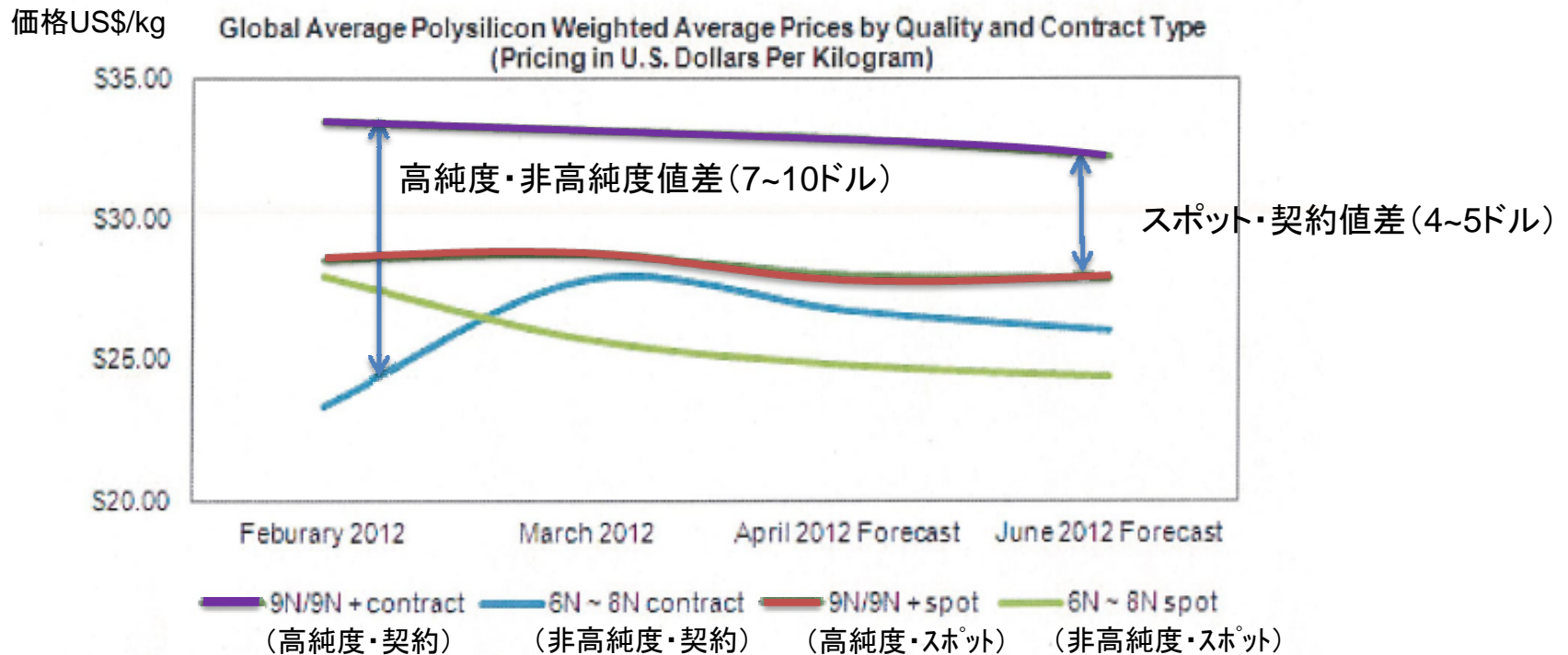


(注)現時点で推定キャッシュコスト\$30以上の非高純度プラントは供給能力から除外している

③ マレーシア計画と多結晶シリコン市場動向

3. 多結晶シリコン価格動向（短期）

- 高純度と非高純度、スポットと契約の間には値差が存在している



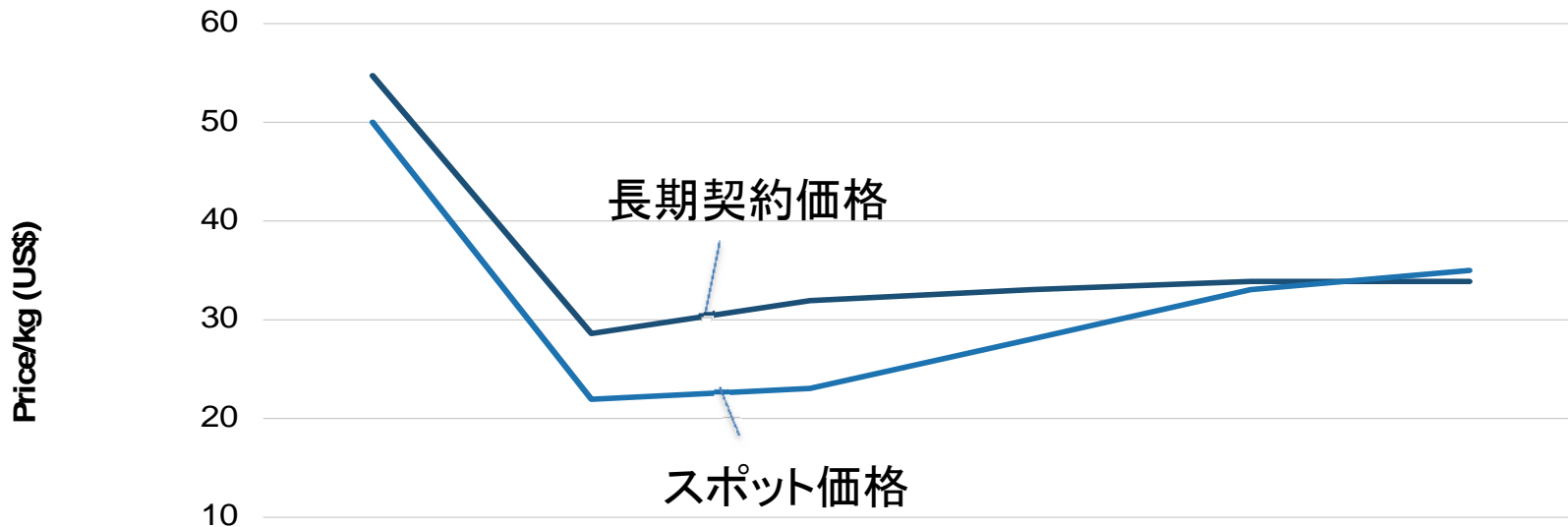
出典: iSuppli Research, April 2012
 (2012年2~3月実績、4~6月予測)

③ マレーシア計画と多結晶シリコン市場動向

4. 多結晶シリコン価格動向(長期)

- 多結晶シリコン価格は2012年に底を打った後、緩やかに上昇に転じる

Polysilicon Pricing Forecast, 2011-2016



	2011	2012	2013	2014	2015	2016
— LTA	54.8	28.7	32.0	33.0	34.0	34.0
— Spot	50.0	22.0	23.0	28.0	33.0	35.0

出典: iSuppli Research, April 2012

③ マレーシア計画と多結晶シリコン市場動向

5. トクヤママレーシアの競争力

<p>競争力 (現在)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水力発電による安価で豊富な電気 ・連邦政府・州政府によるインセンティブ ・優良顧客との長期契約 ・多結晶シリコン市場で長年培ったブランド力と営業力
<p>競争力 強化策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・原料調達見直し ・生産性向上による更なるコストダウン ・次世代(高生産効率)プロセス検討・開発 ・川下との連携検討

③ マレーシア計画と多結晶シリコン市場動向

6. 想定資金計画 2011～2014年度の想定資金計画(単体+トクヤママレーシア)

[キャッシュイン]

単位:億円

	2011.11 公表	今回 修正
手元資金	600	600
純利益・減価償却費	1,550	1,000
有利子負債	600	950
前受金	200	50
合計	2,950	2,600

[キャッシュアウト]

単位:億円

	2011.11 公表	今回 修正
マレーシア1期(残高)	200	200
マレーシア2期	1,250	1,250
その他投資 (維持更新費含む)	1,000	750
手元資金・配当	500	400
合計	2,950	2,600

(注1)純利益、その他投資、前受金の見直しを行い、減価償却費、有利子負債、手元資金を変更した

(注2)想定資金計画は現時点での情報に基づき作成、確定した計画ではない

4 トピックス

1. VLD実証試験終了
2. 周南バルクターミナル全面操業開始
3. 樹脂サッシ問題

4 トピックス

1. VLD実証試験終了

- 太陽電池向け多結晶シリコンの量産技術を確立
- 事業化は、ターゲットとする大規模太陽光発電の普及動向、及び多結晶シリコンの市場動向を見極めた上で判断する



VLD実証プラント



VLDで製造した多結晶シリコン

4 トピックス

2. 周南バルクターミナル全面操業開始

- 2008年、国による全国初の「臨海部産業エリア」の指定を受けて整備を進めていた工事が完了し、2012年4月より全面操業開始

<事業内容>

石炭等のバルクカーゴの保管・
出荷業務
公共ふ頭の運用



貯炭場	現在	計画
面積(千㎡)	160	160
貯炭量(千トン)	663	1,000



④ トピックス

3. 樹脂サッシ問題

改修の進捗と今後の計画

- 改修に必要な大臣認定の取得は完了
- 4,206棟のうち、90%の改修が完了(3/31現在)
- 未改修の建物一棟一棟に対してきめ細かな是正対応を進め、100%の改修を目指す

尚、今後本件につきましては、特段の進捗があった場合に報告させていただきます。



5 補足資料

1. 決算概要
2. 主要指標
3. 業績推移
4. 主要原燃料価格推移
5. 設備投資額推移
6. 有利子負債残高推移
7. フリーキャッシュフロー推移
8. 主要グループ会社売上高

5 補足資料

1. 決算概要① (前期比)

(億円)

	2012年3月期		2011年3月期		差異			
	連結	単体	連結	単体	連結		単体	
損益概要					金額	%	金額	%
売上高	2,823	1,850	2,897	1,977	△74	△3	△126	△6
売上原価	2,037	1,295	2,097	1,401	△59	△3	△105	△8
販管費	648	451	599	416	+49	+8	+35	+8
営業利益	137	103	201	159	△64	△32	△56	△35
営業外損益	△21	△18	△28	△23	+6	—	+5	—
経常利益	115	85	173	136	△58	△34	△50	△37
特別損益	32	29	△17	△29	+50	—	+59	—
税前利益	148	115	155	106	△7	△5	+8	+8
法人税等	54	30	57	39	△3	△6	△9	△25
当期純利益	93	84	97	67	△4	△4	+17	+26

5 補足資料

1. 決算概要②

セグメント別売上高／営業利益 (予 想 比)

(億円)

	2012年3月期実績		2012年3月期予想		差 異			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	852	19	855	15	△2	△0	+4	+27
特殊品	790	102	790	100	+0	+0	+2	+2
セメント	684	29	660	25	+24	+4	+4	+18
機能部材	435	17	445	15	△9	△2	+2	+16
その他	403	20	410	20	△6	△2	+0	+2
計	3,166	188	3,160	175	+6	+0	+13	+8
セグメント間 消去・全社費用	△343	△51	△350	△50	+6	—	△1	—
連結決算	2,823	137	2,810	125	+13	+0	+12	+10

(注1) 各事業セグメントの売上高にはセグメント間売上高を含む

(注2) 2012年3月期予想は2012年2月8日公表数値

5 補足資料

1. 決算概要③

連 營 外 損 結
 (前 期 比) 益

(億円)

		2012年 3月期	2011年 3月期	差損益	備 考
営業外収益	受取利息・配当金	5	6	△0	
	その他	22	28	△6	持分法による投資利益減 △3
	計	28	34	△6	
営業外費用	支払利息・社債利息	20	18	△2	
	その他	30	44	+14	為替差損減 +14
	計	50	62	+12	
営業外損益		△21	△28	+6	

(注) 差損益の表示は、利益を+、損失を△としている

5 補足資料

1. 決算概要④

連 結
 特 別 損 益
 (前 期 比)

(億円)

	2012年 3月期	2011年 3月期	差損益	備 考
特 別 利 益	47	26	+20	製品補償損失引当金戻入額増 +40 投資有価証券売却益減 △17 国庫補助金収入減 △5
特 別 損 失	14	44	+29	事業整理損減 +15 製品補償損失引当金繰入額減 +7 災害による損失減 +3
特 別 損 益	32	△17	+50	

(注)差損益の表示は、利益を+、損失を△としている

5 補足資料

2. 主要指標① (前年比)

		2012年3月期		2011年3月期		増 減	
		連結	単体	連結	単体	連結	単体
設備投資額	億円	776	139	358	133	+417	+5
減価償却実施額	億円	284	236	314	267	△29	△31
研究開発費	億円	117	94	114	94	+2	+0
金融収支	億円	△14	+0	△12	+0	△2	△0

5 補足資料

2. 主要指標② (前期末比)

		2012年3月末		2011年3月末		増 減	
		連結	単体	連結	単体	連結	単体
有利子負債	億円	1,486	1,285	1,262	1,076	+224	+208
期末人員	人	5,506	2,175	5,493	2,195	+13	△20

5 補足資料

2. 主要指標③ 予想の前期比

(億円)

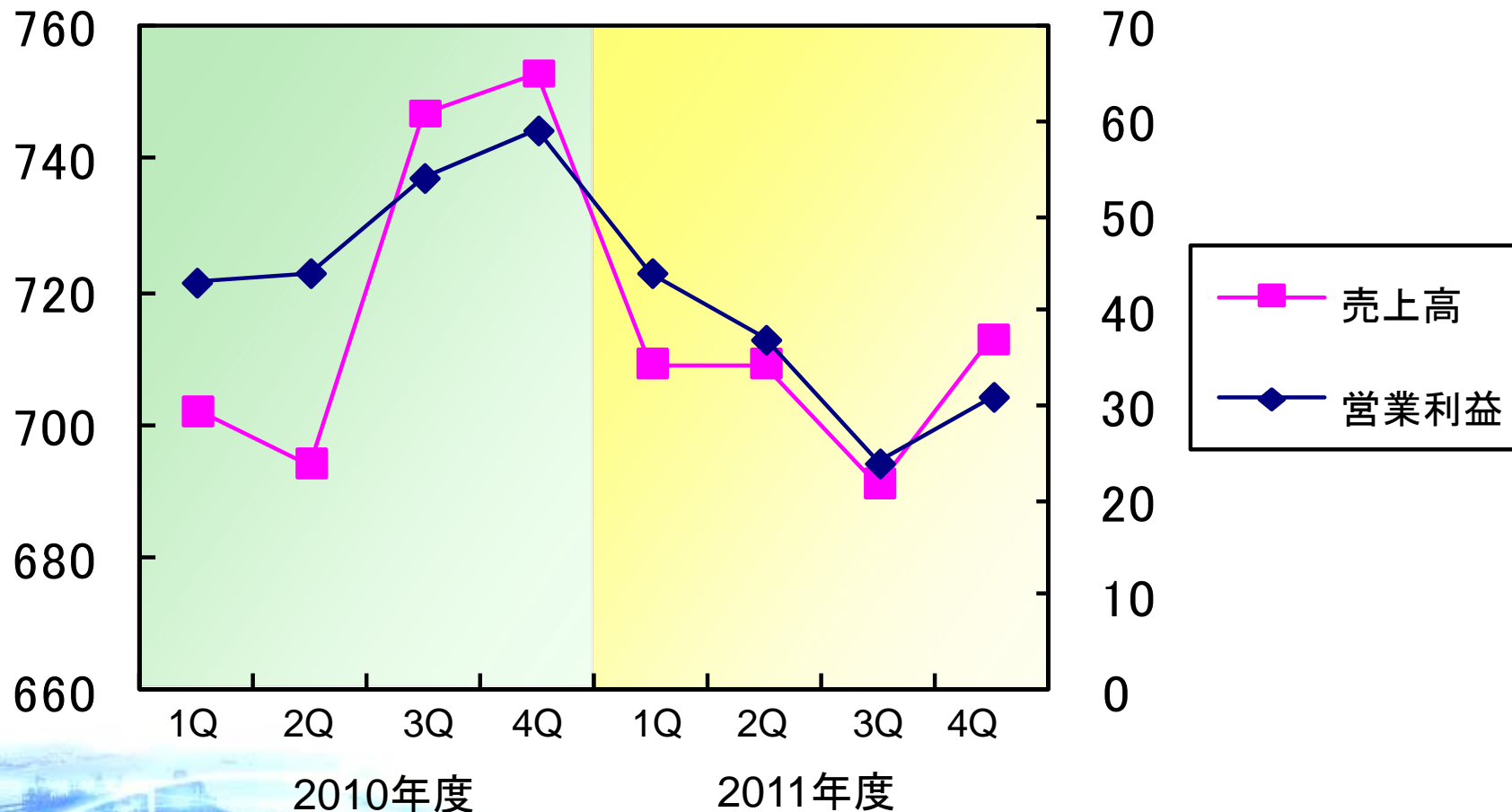
	2013年3月期 予想		2012年3月期 実績		増 減	
	連結	単体	連結	単体	連結	単体
設備投資額	917	221	776	139	+141	+82
減価償却費	247	198	284	236	△36	△37
研究開発費	122	100	117	94	+5	+5

5 補足資料

3. 業績推移① 連結

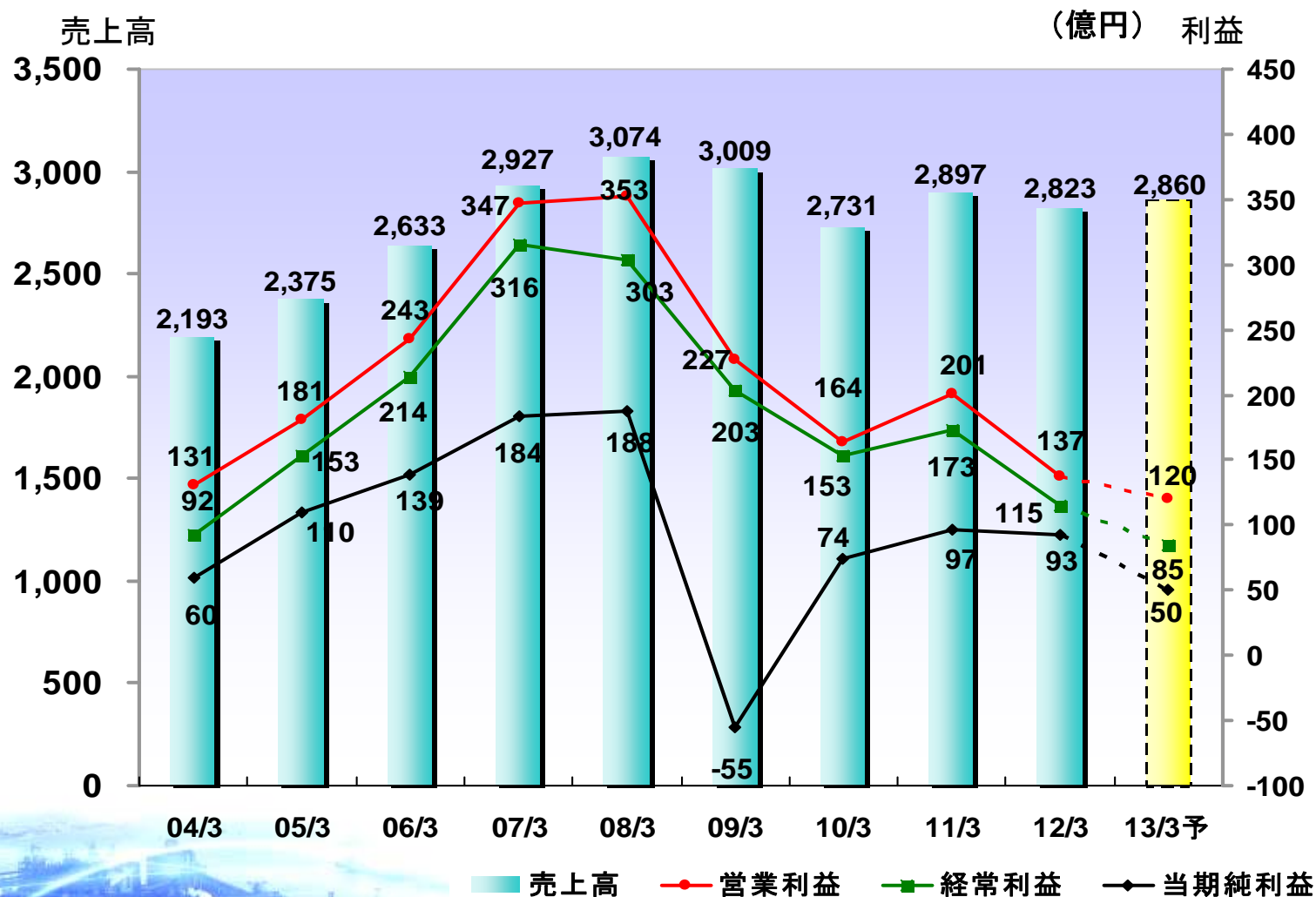
売上高(億円)

営業利益(億円)



5 補足資料

3. 業績推移② 連結

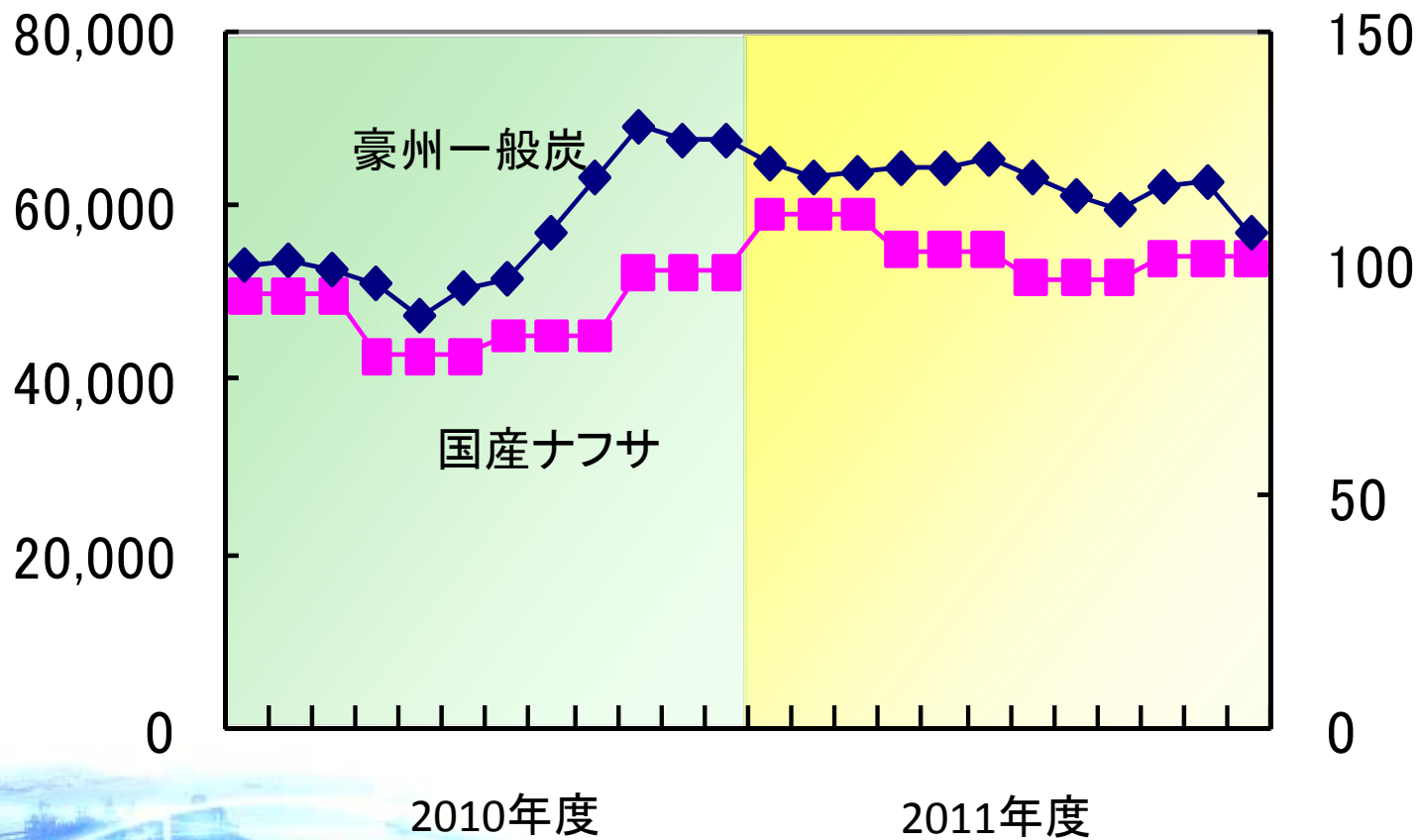


5 補足資料

4. 主要原燃料価格推移

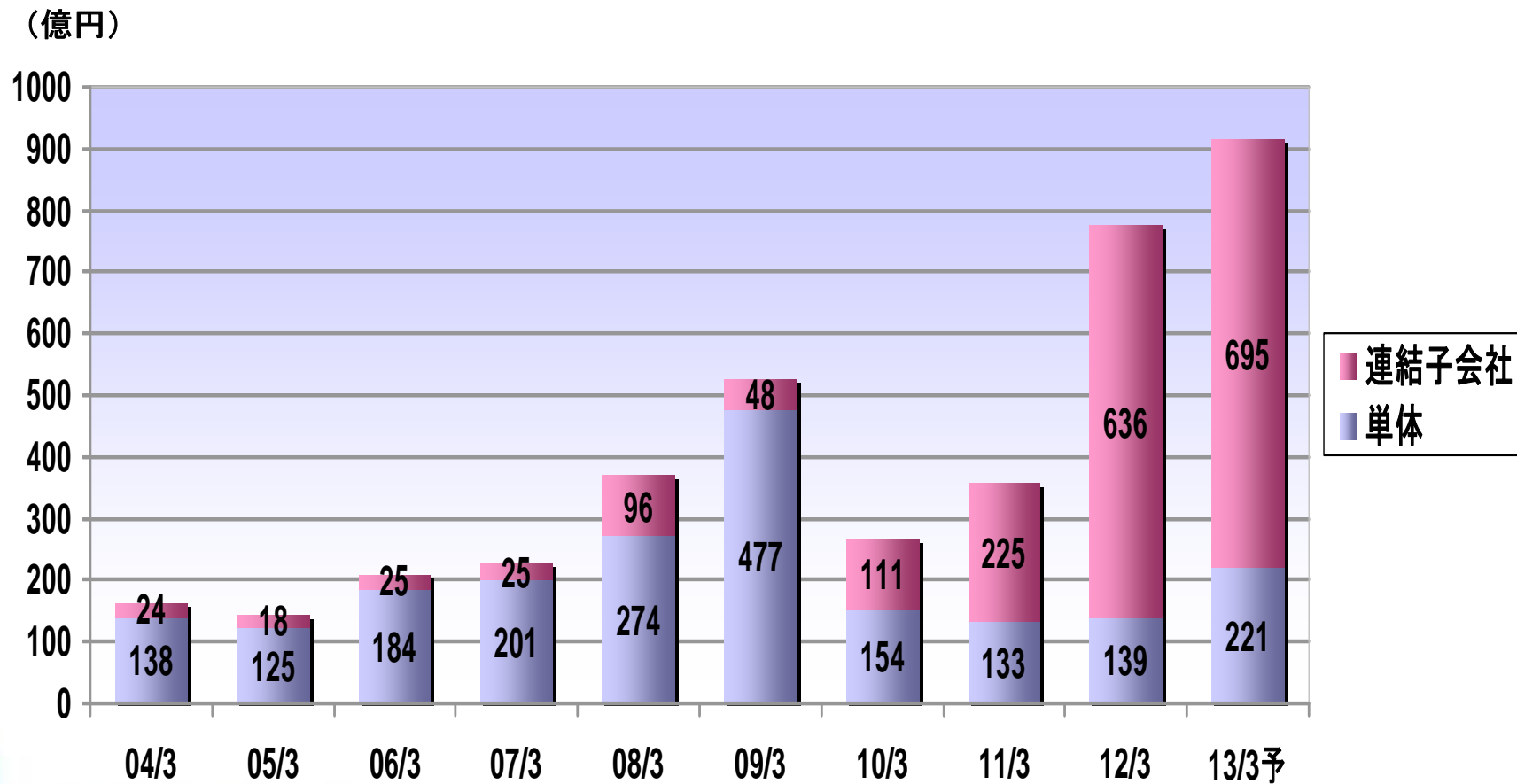
国産ナフサ価格
(円/kℓ)

豪州一般炭スポット価格
(\$/トン)



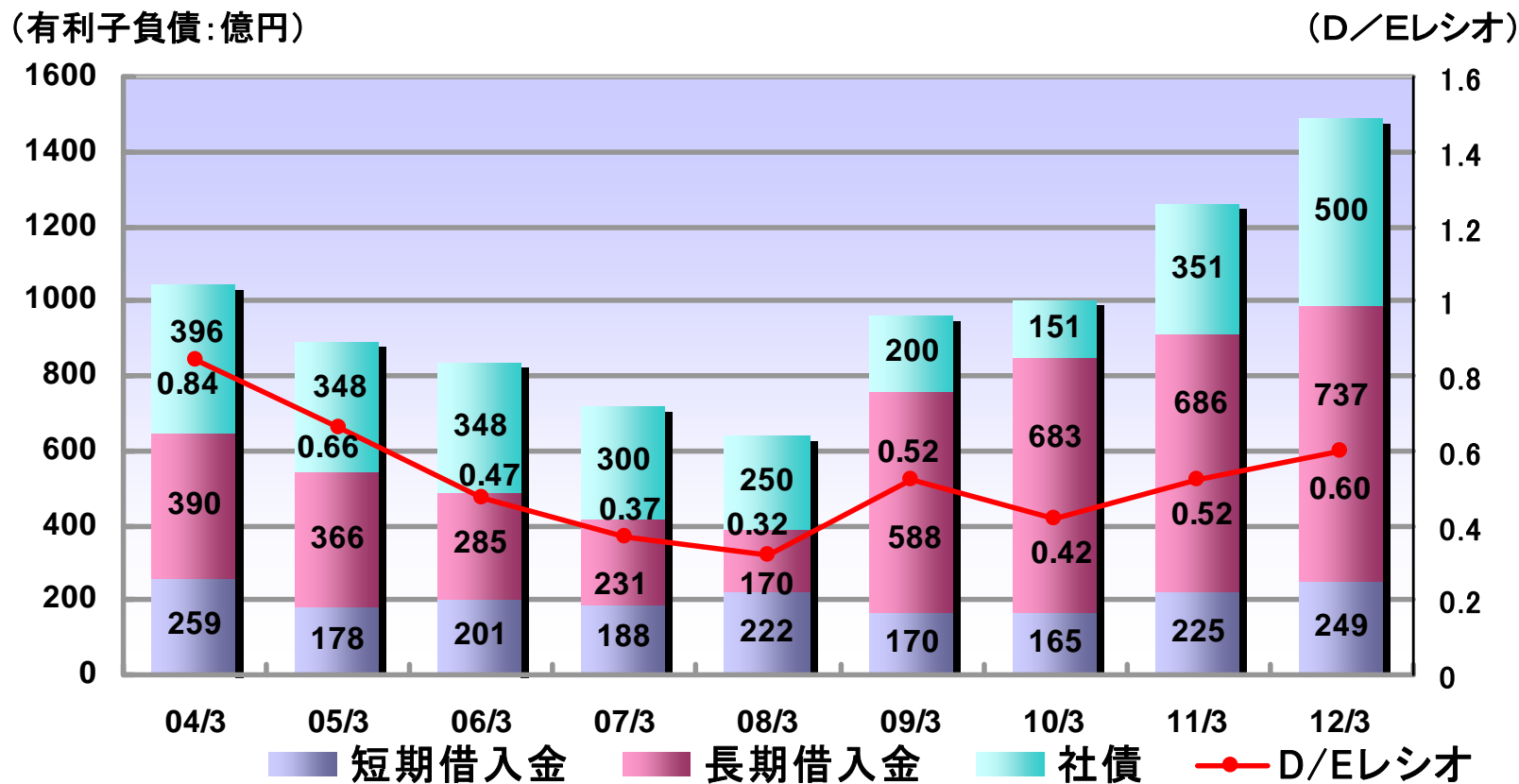
5 補足資料

5. 設備投資額推移



5 補足資料

6. 有利子負債残高推移 連 結

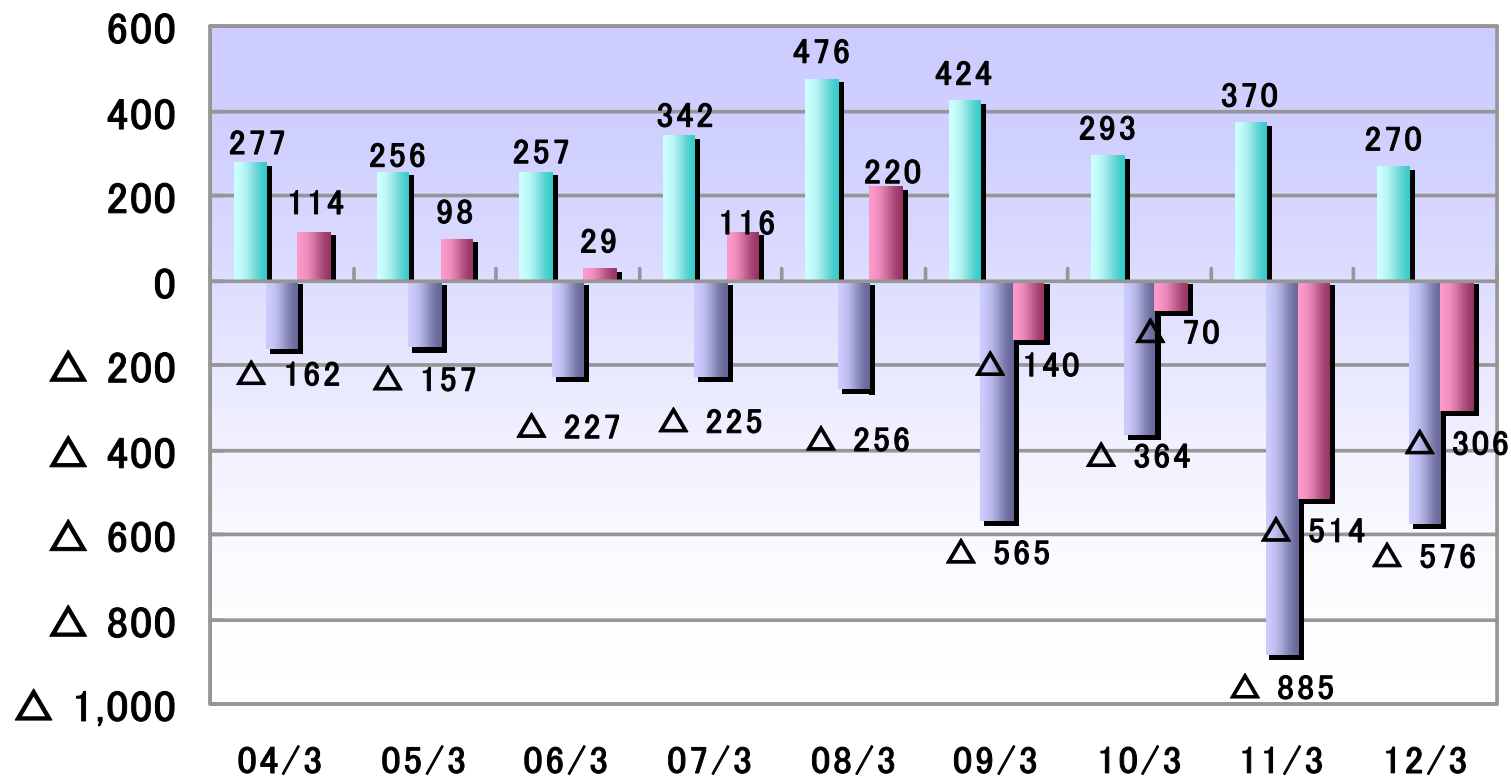


5 補足資料

7. フリーキャッシュフロー推移

連 結

(億円)



■ 営業キャッシュフロー ■ 投資キャッシュフロー ■ フリーキャッシュフロー

5 補足資料

8. 主要グループ会社売上高

	会社名	事業内容	資本金 (百万円)	出資比率 (%)	売上高 (百万円)	
					12年3月期	11年3月期
①	トクヤマ通商(株)	セメント・生コンクリート、各種建設資材の販売	95	100	21,488	18,141
②	新第一塩ビ(株)	塩化ビニル樹脂の製造販売	2,000	71	20,928	18,498
③	サン・トックス(株)	プラスチックフィルムの製造販売	1,600	100	15,761	15,977
④	関西トクヤマ販売(株)	生コンクリート、各種建設資材の販売	80	100	9,492	8,789
⑤	(株)トクショウ	生コンクリート、各種建設資材の販売	40	100	8,752	7,776
⑥	(株)エイアンドティー(12月決算)	臨床診断分析機器、試薬及び関連システムの販売	578	40	8,485	7,862
⑦	(株)エクセルシャノン	プラスチックサッシの製造販売	495	100	6,166	6,772
⑧	フィガロ技研(株)	ガスセンサ素子及び応用製品の製造販売	99	100	4,088	5,275
⑨	徳山化工(浙江)(有) (12月決算)	乾式シリカ、TCS、STCの製造販売	351.2 百万元	100	3,434	3,738

本資料に関するご注意

本資料は情報提供を目的とするものであり、何らかの勧誘を目的とするものではありません。

本資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。